



# きょう子通信

2018年7月  
No.48

常滑市議会議員 新風クラブ 井上 恭子

ご意見 〒479-0866 常滑市大野町6-56(大野町きょう屋内)  
ご相談は TEL/FAX: 42-1307 E-mail: kyo-ya@infoseek.jp

Facebookもチェック フェイスブック井上恭子(Kyoko Inoue)もご覧下さい。 いいね!



## 失われた 行政の「公開する義務」

## ないがしろにされる 市民の「知る権利」

### 提案内容は市民に非公開

昨年、新庁舎の建設に関し市民会議を開き、今年になり、民意として市役所複合化として平成30年度の予算書にあげられていた。しかし文化会館存続の署名が市民から出されたため、市庁舎単独という結果となった。

今後の市庁舎建設では、6月には一部の議員も交えて、建設基本計画・実施計画委託業者として(株)日建設計名古屋オフィス。オフィス環境整備業務委託業者としてコクヨマーケティング(株)が決まったが、**提案内容は市民に非公開**。市民会議からは「使いやすさ」「わかりやすさ」「快適さ」を必要な機能として挙げているが、(市のホームページ参照)非公開としているため、これが反映できているかわからない。その上、議員に市庁舎の図面が手渡されたが、**市民へ口外を差し止めるメール**が届いた。市民への「知る権利」を阻害する行為ではないだろうか。



### 常滑市・半田市

### 医療提供体制等協議会設置

半田市民病院が半田運動公園に決定した。そのため、両市の地域医療を守り、効率的で質の高い医療提供体制を確保し、両病院における機能連携や経営形態の在り方を協議するため、6月1日に9人の委員による「常滑市・半田市医療提供体制等協議会」を設置した。

本来ならば市議会代表がここに参加すべきであると思うが、選ばれていない。この協議会の全面公開を求めた。

### きょう子コメント

半田クリーンセンターの土壌汚染発覚時、首長同士の秘密会が行われた結果、その後莫大な税金を支払わなければならなかった経過がある。市民の中には多くの専門家がいる。市庁舎建設、両市民病院協議会にしても、隠蔽ととられないよう、全てを公開し、市民とともに、より素晴らしい市庁舎にすることを要望する。

## カジノ事業者のカモになる日本人？

カジノは胴元が確実に儲かる仕組み、ギャンブルに参加する人は「勝ってお金を儲ける」ことを目的とするにも関わらず、結果的にほぼ確実に「お金を失ってしまう」という矛盾する現実を体験する。「人の不幸」が収入源という本質。カジノ合法化の英国ですら拒否したIRカジノ。依存症を作らなければ儲からない。日本は本当に作る必要があるのか。私と西本議員はカジノ反対を議会で表明した。



儲けのほぼ100%が  
アデルソン一族に

米国カジノ資本 ラスベガス・サンスの株主構成  
(儲けのほぼ100%がアデルソン一族に還元)

2012年～2017年の株主配当の合計 159億ドル

株主名 (beneficial owner)	比率
S. アデルソン	10.0%
M. アデルソン	41.6%
信託 (S. アデルソン、他)	16.4%
Irwin Chafetz (受託者)	32.0%

# これで良いのか？子どもの学校環境！

子ども達の学習環境整備は常滑市の予算で実施すべき！

**問** 外は雪でも常滑中学校にストーブがない。市の予算で設置すべきではないか

**答** 文科省の通知に反しているが、常滑中学校にストーブの設置は考えていない。常滑市の教育予算が少ないことは施策である。教育予算をどう配分するかの検討委員会は考えていない

きょう子コメント

## 生徒・父母の叫び声を無視するな

常滑市は他市町と比較しても教育関係にお金を出さない。小中学校の教室には冷暖房がなく、劣悪の学校生活環境を強いられてきた。外は雪が降っていても防寒具を着ることも許されず暖房の無い教室で過ごす生徒達。やむなくPTAは資源回収などでストーブの購入費用の捻出に努めてきた。

常滑市は「お金が無いから」と教育予算を低くして、市役所裏に喫煙所を作ったり、りっぱな市庁舎建設をしようとしている。子ども達の悲鳴が聞こえないのであろうか、常滑市はもっと真剣な対応を！



平成30年度一般会計予算		
	教育費	農林水産費
常滑市	8.2%	4.6%
知多市	9.4%	1.0%
大府市	10.9%	1.6%
半田市	11.9%	0.6%
東海市	12.0%	1.6%

## いじめ不登校児童・生徒の対応は常滑市が責任を持て！

**問** 法律では、いじめが引き金になり不登校となることを重大事態といい、市長に報告をし、市が対策組織を設置して責任をもって対応しなければならない。法律や条例に沿った対応を行ったのか。

**答** 重大事態と捉えていないので、組織の設置はしなかった。検証して2度と起こらないようにしたい。

きょう子コメント

## 不登校相談 95件

平成28年の18歳以下の不登校は95件であるが、これはあくまでも相談件数である。不登校などは関係者はなるべく隠そうとするため、実際の件数はもっと多いといわれている。これらの問題は学校だけで対処するのではなく、法律や条例に常滑市が直接の対応をしなければならない。勇気を持って子ども達を守れ常滑市！

一隅を照らす

真摯な回答を求め

議会を傍聴して、教育長の回答では、「加害者と被害者の言い分に食い違いがあり学校も指導に苦労した」とある。また、この問題を重大事態と認識していないという回答には、本人家族にも問題があるようにとれ、解決しようとする気持ちが読み取れなかった。もっと現状を知り、真摯な回答をすべきだと思った。  
市民の声

# 新ごみ焼却場の説明会を早急に

**問** 土壌汚染などにより、すでに何億円もの税金を失い、その上、新ごみ焼却場建設は5年延期された。このような失敗を繰り返さないために、常滑市民に早急に説明会を開催すべき。

**答** 常滑市から環境組合に進め方の意見を出していく。

きょう子コメント

## だれも責任を取らない一連のミス 1億2千万円で処理できなかった土壌汚染

2市3町（半田、常滑、武豊、美浜、南知多）で新たなごみ焼却場が武豊町に平成34年に供用開始の予定である。しかし表1にあるように最終処分場であることを隠蔽していたり、瑕疵担保責任の免責（土地売主は土壌汚染の責任を負わない）をつけたりして汚染されている土地を購入している。

平成26年12月の一般質問では、「地歴調査により、鉛、ホウ素、ヒ素、鉛等重金属類による汚染の可能性があるが、掘削に伴い発生する処分土の全量を処理するための費用として**1億2千万円は正しい判断であった。**」であったが、**今回の一般質問では、「汚染の量がまだ確定できないため、処理方法も処理費も算出できない」と変わってきた。**平成27年には当時の土壌汚染判断は不適切であるとして住民監査請求したが、行政も議会も何もなかった如く通り過ぎていったのである。これら一連の判断ミスはだれが責任を取るのであろう。これらの議論の場は、一部の行政職や議員が参加する知多南部広域環境組合である。しっかり住民の専門的な意見や調査研究を行っていたならば、多額の税金を捨てなくても済んだのではないかと悔やめる。今後は情報共有することの重要性を訴えていきたい。

またダイオキシン  
2019 武豊別の1地点  
半田、常滑、武豊、  
南知多、美浜の二市三  
町でつくる知多南部広  
域環境組合は二十八  
日、「ごみ処理施設「知  
多南部広域環境センタ  
ー」の建設を予定す  
る武豊町一号地の地下  
水のダイオキシン類追  
加調査の結果を発表し  
た。

組合は昨年十一月、  
予定地の地下水から環  
境基準を超えるダイオ  
キシン類などが検出さ  
れたことを発表、継続  
調査している。今回は  
予定地周辺も含めて八  
地点で調査を実施し、  
センター建設予定地内  
の一点で、基準の八  
・七倍となるダイオキ  
シン類を検出した。前

見を通知した。  
現地調査で判明した土壌  
汚染への対応や、現地西側  
に近接する住居に配慮した  
低公害機械の導入を求め  
ている。  
これをめぐって組合は環境  
町が武豊町に計画してい  
る「ごみ処理施設「知多南  
部広域環境センター」の環  
境影響評価書を作成、縦覧し  
た上で二〇一八年度後半に  
着手し、二年度の事業開  
始を目指す。

進められた。組合は  
水質調査を継続するほ  
か、土壌調査も実施す  
る。県は周辺の井戸所  
有者に対して飲まない  
ように指導する。  
土壌から基準の最大  
十一倍となる鉛およ  
びその化合物が検出され  
た場所は盛り土して立  
ち入り禁止にしてあ  
り、建屋の建設場所が  
決まり次第、詳細に調  
査する。

昨年に続き、今年度になっても  
またダイオキシンが検出。市民  
からの指摘にも拘らず、最初の  
汚染土の処理方法に甘さがみ  
られる。

表1 これまでの事業経過

平成19年	ごみ焼却場建設予定地 半田クリーンセンターに決定
平成22年	建設予定地から鉛検出 最終処分場跡地であることを隠蔽して いたことが発覚
平成24年	ダイオキシンが乙川より検出
平成25年	建設予定地武豊町字一号地地内に決定
平成26年	半田開発公社が履歴調査だけで瑕疵担 保責任の免責をつけ組合の議決なしで 9億5000万円で購入
平成27年	住民監査請求提出したが却下
平成28年	ダイオキシン、フッ素及び
29年	その化合物など検出

## ごみ減量せざるを得ない 枠組み設定

かつて迷惑施設であった焼却場は防  
災機能やデザイン性を備え、町なかに  
建設されるまで変身している。  
他市町では、ごみ焼却で生まれる電力  
でEV（電気自動車）収集車を走らす  
実験も始まった。

知多南部広域環境組合は、現在2市3  
町での既存のごみ日量約412、5tを、  
将来の人口減少やごみ減量を見越して  
日量283tとした。ごみ焼却場が小さ  
くなるため、これらについて市民と情  
報共有をし、次世代につけを回さない、  
より一層のごみ減量施策を要望する。

## 傍聴するのに住所、氏名必要？

岩倉市ではすでに10年前に廃止

議員が活動するために市議会関係例規集がある。今回規則、申し合わせ事項、先例集の見なおしを議会で行うことになり、7月に傍聴規則の見直しが話し合われた。

第3条には「議会の傍聴をしようとするものは住所及び氏名を書き、傍聴券の受付が義務化」とされている。議会改革で県内でトップの岩倉市はすでに10年前に廃止されている。規制するのではなく、市民に傍聴してもらえ環境を考えると先決であると思うが、皆さんのご意見は？

Cafe de 情報交換 ♡



**あなたの税金は  
どのように使われたか**  
決算書を見ながら話し合いを行います。  
あなたの意見をお聞かせください。

8月29日(木) 10時～大野町きょう屋

19時～中央公民館

## 「幸せになるために」自分の思ったこと5つ書きましょう！

一座間宮ガレイ氏講演会にてー

「かえるの会」主催で、「わずか15分で人生が変わる」というテーマの新聞読み方講座を開催した。その中でトランプ氏の選挙戦で行われた、民主主義には欠かせない市民の声を聴くという手法を学んだ。今回講演会での参加者から「幸せになるために」という質問の回答をいただきました。皆さんのご意見を政策に役立てたいと思います。



- 地域を超えて助け合う、役割と出番。人はだれでも主役になれる。お金で動くのではなく、人が人と共に動く喜び。
- 仲間とまじわれる場所があるといい。
- お互いの違いを認め合うこと。
- いいことをしてあげて喜びを感じる。
- 安心して失敗できる仲間がいること。
- おしゃべりをする 広い心を持った人がたくさんいると良い。
- 周囲の仲間と常にコミュニケーションを取り、孤立しない事。
- 地域に小さな子どもがいっぱいいること。
- 地域の友人それぞれ時に論争できる。
- 政治のことフランクに語りあえるといいな。
- 政治家が嘘を言わない社会に。
- 歩いて行ける所にお店や病院があること
- 医療費が自分で払えるくらい安いといい。先が心配です。
- 常滑だけでなく知多半島一つになろうよ。

## 9月議会のお知らせ

**8月31日(金)～9月28日(金)**  
**一般質問9月3日(月)・4日(火)**  
決算特別委員会(一般会計) 18日(火)  
(特別会計) 20日(木)  
(まとめ) 26日(水)  
傍聴お待ちしております

毎議会ごとに3駅で  
議会報告します。



大野町 8月 1日(水)  
榎戸駅 2日(木)  
常滑駅 3日(金)

## 編集後記

女性脳は風呂敷、男性脳は引き出しといわれるように、男女の脳の働きは違う。国会では「政治分野における男女共同参画法」が6年越しに成立した。介護、子育て、医療など女性の分野が比重を占める政治の世界にそろそろ女性の議員を増やすクオータ制(割り当て)を導入すべきである。それは男性にとっても幸せな社会になると確信する今日この頃である。

※恭子通信のポスティングのお手伝い求む

**YouTube** 一般質問を動画でどうぞ 常滑市役所HP→市議会→本会議録画中継